

学校教育自己診断についての考察

【児童生徒】 回答数 123 人

21 項目中 20 項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 60%を超えており、9 項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 70%を超えている。学校生活を楽しんでいる生徒が多いことがわかる。

「将来の進路や生き方について考える機会がある」「先生は命の大切さや社会のきまりについて教えてくれる」の 2 つの項目については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 65%、78%とやや低く、人権教育・キャリア教育のさらなる推進が必要とされる。また、「先生はいじめについて私たちが困ってことがあれば真剣に対応してくれる」の項目においては「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 54%で、昨年度の 44%から向上しており、いじめ事象を発生させない取り組みが進んだと考える。

【保護者】 回答数 98 人

28 項目中 27 項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 60%を超えており、24 項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 70%を超えている。学校運営に関しては、保護者の満足度はある程度高いと考えられる。

「ホームページの運営」「進路指導の充実」「PTA活動の充実」の 3 つの項目については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 71%、76%、58%、であり、ある程度学校の対応が進んでいると思われるが、保護者との連携において今後も何らかの取り組みが必要と考える。また、「学校と保護者の災害等への対処の共有化」の項目においては「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 67%で、昨年度の 59%から向上しており、保護者と学校の連携に係る取り組みが進んだと考える。

【教職員】 回答 81 人

41 項目中 38 項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 60%を超えており、34 項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 70%を超えている。校長の学校運営に関する評価が昨年度と比べ変化は少ない。今後の学校運営に関してこの意見を受け止めていきたい。

学校運営に関する質問で「学校運営に教職員の意見の反映されている」「日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています」「各分掌や各部各学年間の連携が円滑に行われている」「教職員の適正・能力に応じた校内人事や校内分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある」の 4 つの項目については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 68%、75%、63%、49%とやや低く、教職員間の連携や病院との関係構築に引き続き重点を置かなければならない。

生徒指導（支援）に関する質問で「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている」「生徒の実態を踏まえ、指導内容や指導方法の工夫・改善を行っている」「いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている」「生徒が将来の進路や生き方について考える機会を多く設けている」の 4 つの項目については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 90%、94%、89%、85%と高く、教職員の支援の意識が高いことがわかる。この意識を維持していきたい。

総じて、生徒の安心で安全な教育環境づくり、学校と保護者の連帯意識、教職員の目標を持った教育活動については、肯定的な回答を得られたと考える。今後は、今以上に生徒の学校生活が QOL の高い環境づくりと保護者と連携した教育活動の充実に努めたい。